五十せの老姫う大納言の川べ
さきされよ春の世の数ふるとも
いふめるかゝるさきもの儀いんとよ
あゝさきあと世とゝ浪の華の
世俗俗ふるの福ひの数ふや

みちのくの菊さかりなるぬの國より
袋をさしらせ侍るに おほむね新
もうて生きて寶とはらの記の
をしふるまおほむねをあはれ
つまひろふる袋かな

一集のおもむきを我も歩せるる
ものしるる此集あるべし
年二百回とかの大歌ようて風雅
のあの歌なるべし

文政甲申夏四月

永木識

信濃一乃宮寅申年御ちら
祭神の和てゝ元来明神へ
祈誓後嘉元を真津理
玉式儼なる神事と傳ち
乃麿美男性女性なる言
故実も何ぞ無謂
老翁の夜詣一次無なる公
ゆゝしの的や有る音高し　柳平

諏訪宮

たゝゝゝゝ神無月柏原吾堂
見物者員ゝゝ杜宇周行
宗祢ゝゝの天や降らん十駕
ゝゝ見言葉伊枝折せむ若人
枝枝乃手々持ちて吾三
雛ゝゝ作ゝの長る梅茅生　堂

こゝなる宮殿さいるれハ
花ちる花さくこゝろしうゑ
折〳〵ゝ行ちかひ解け
情をもつる切をもつて
寵愛煙もさそふ十五日
てゝ甲斐あるゆゑの中仮
かりそめの宮殿ゆゑ
世をうらやむ切なさ

行駕人三堂行駕行

乳母ゆゑ
年老ひ人の母
不孝なる花も咲
屋敷をもつ
ふ音

三堂人行

善光寺

蓮の葉はさきそめ初て百雀
鳴ちゝ保きたりて下泰平文路
飛もかくも 瓢のうちに世界さて一茶
ちゝや 文政も七つとせ有る 雀
庵の前 ちいさい馬をつゝの這ふ 路
ざくりと雪をつゝもしら男 茶
穂すゝ延さ生の先より矯の茶し 雀

入れ 仕そこなふ 石 墻 路
紀の国 ちゝの川 海の中 茶
雪にさら雪ちゝの餐 雀
北(ウラガタ)の星かゝれる 路
殺一ちゝ 路 むらさき忘 茶
西東 帆の上下を跨 雀
人の理 紀の国 安藤 宮鳴 路
時そ大年 ちゝを ゆゝ けや 茶

[illegible] 堂
[illegible] 路
[illegible] 茶

[illegible]

[illegible]山

[illegible]山路を苔の蒼茫として如[illegible]

[illegible]

[illegible]を[illegible]て鳴 百堂
青紙繭[illegible]人[illegible]連て[illegible]て [illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible] 堂
[illegible]を[illegible]を[illegible]を[illegible] [illegible]
[illegible]を[illegible]を[illegible]を[illegible]を次 堂
德[illegible]世[illegible]を[illegible]て[illegible]の[illegible] 仝
[illegible]父[illegible] [illegible]
[illegible]を[illegible]を[illegible] 堂

紀州の名所の名もしらぬ
山茶花の花の咲ちらし
さゝらと流れ寒藤の
白檀の白ふ様なとのたらら
しなるの色
文選の左良ちんべて
七仏法の名ぬる
ゆゝとゝ笑ひたるん

丸
堂
丸
堂
丸
堂
丸
堂
丸
堂

角くゝと書文字
徒士町の茅屋
五ゝの宮
ゝゝゝる茅屋
納屋たて
黒ゝ
ゝとゝ
極ゝ

丸
全
堂
丸
堂
丸
堂
丸
堂

解脱乃たとえ何の拙き文　堂
森のうち　ちとせを長の春の往さそ　乎
天の原　ふりさけてみる傘持　堂
色くれなる豆腐ちりぬるを　乎
世にきしわれ　花の裏に行く　堂
ひづつせ花の傷の瘡（ヨコリ）の　全
みちの人　今のうちに玉川の　乎
いそのうらやみの磯の色　堂

ゆきてゆきて　厚ぶすを面　乎
たちのぼる弥生花の雲の日の　全
幣　手にとりて　峰の花　全

明日をのが大年とて果て　仙市

暑さを日々ゆるぶ夏今の詠　兼何

ひとつ芋を友の秋の味　照樹

毛ものや山屋の秋自ひとり　雨山

年を花と百姓とて呉れる　百曉

ひとしれぬ年の暮　正六

秋をまた上座をかくる学び　世巨

むくつけの生れ知らずや入あれ庵　叢

秋風に立ちそめて桂月面　白嶺

むしの巣をむしもむしも今年より　重　花富

月和をさ芋の出る前　海青山　伍什

柏原中村氏のまち秋八十七辞世

雲風や雲を乗りひとりの雁　古人蓑羽

ふるさとやとしふる年も友なきみ　一茶

ぞうとして神は信を母なる哉　文路

寄るとしてそそそそ炉ふる　朽ふる　きく女

行とや貴ふ[illegible]る新一句　芭蕉
[illegible]　仏亭
[illegible]人の[illegible]おされ[illegible]　目九
[illegible]　初茄子　乙五
[illegible]　里風
[illegible]　青以
[illegible]　黄表紙
[illegible]　山風

和尚墨[illegible]の[illegible]ぬ[illegible]る若人
灌仏や宮[illegible]あ[illegible]ぬ[illegible]　古人　改子文
若仏を[illegible]　[illegible]　万代
[illegible]
落[illegible]て[illegible]　[illegible]　[illegible]
秋[illegible]　[illegible]　花陶
雨[illegible]　[illegible]　車両
[illegible]　久藏

雲日詠

[illegible] 栄丸

一所[illegible]借水[illegible]里 百堂

解[illegible]音[illegible] 丸

[illegible]日之秋 堂

[illegible]丸

[illegible]貝 堂

[illegible]

[illegible]美氏家父

[illegible]五月[illegible]五日[illegible] 百[illegible]

常磨居士

[illegible]行[illegible]雑[illegible] 墨[illegible]

[illegible]

下略

[illegible]樹

[illegible]百堂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

自他平等一味下略

満尾

[illegible]

[illegible]

[illegible]

音字四ツ岐嶋福嶋

[illegible]

四蹄[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]てゝる氣建て洞兵
[illegible]乃きしらる春明
有北環秋海棠花自然ゆき千年安
金木のまめゝ拍子ゝ迄 生
むし蟲花[illegible]をかくもきゝ 羊
ちとぐ紙解て[illegible]占ふ 兵
山[illegible]雪ゝ三[illegible]ふるゝ雨 明
和ゝ千鳥乃聲せるなり 尋

幡八の粥を[illegible]風尾俊逸 生
角ゝ[illegible]ふ油ゝ[illegible] 羊
桐花[illegible]梅[illegible]解て 兵
きゝて今年歳の仲る一もち 明
藤ゝ[illegible]と種乃そひゝと 尋
たゝ[illegible]も[illegible]金[illegible] 生
秋[illegible]の[illegible]花乃先 羊
田ゝ[illegible]賤る七日日 兵

朝ぼらけ心ひかれる杜鵑　八朗

山中無暦日と題を拈りて

春もはや過ぎぬと聞くに杜鵑　天蛾

出ふかく鳴きつる本立　緑翠

ぬばたまの夜の帳　塞馬

ひとすがら聞くもの哀れ　游龍

ゆかしなる毎夏の音ぞ　蓮

山ふかき木の葉の繁茂　百合

山蛭の人をつけ来る　文

十字路の水溜り　蓮

秋の空の雲の行　四方の景色

掃除する棟のちりを待月哉　物我

茅ぶき屋根の彩や　百合

ぬかるみの泥の和　文思

北の屋と杜鵑の鳴く　蓮

[illegible]機の音　桐物
[illegible]　武陵
何[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible] 雙峯山
[illegible] 梅隠
[illegible] 不石
[illegible] 乾[illegible]
[illegible] 徳秋
[illegible] きく江女
[illegible] 若助
[illegible] 路月

[illegible] 得芝
[illegible] 夜景
[illegible] 百堂
[illegible] 松徹
[illegible] 古猿
[illegible] 冨雄
[illegible] 龍
[illegible] 其歌

[illegible]
[illegible]
[illegible]

院御歌所にて代詠す　尼

ちぎりたえたる松がねの松　光

きのふまで雪ふる陸奥の国　尼

ゆきもこほりもとけぬ　光

ゆかしさ　尼

ゆかしさ　光

本乃折　尼

色造やとて　光

所得たる　尼

所得たる　光

旅ちかの色の優をとて　尼

何やらゆかしき新人　光

桐ひとえ　尼

有もなき紀の国をたづねて　光

美の道をあらぬ方にたづねて　尼

たづねてゆかしの歌と　光

菅蓑笠ことゝしるく疎ひて
拍乃ゝとゝ〻〻〻と雨ふる
蔭ゝゝ蔭くゝゝるみてゝなれて
宛ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
中絶し毒の石漑とゝろせ
ゝゝ初貌ふゝゝむ風ゝ流
路の妻を走のゝとゝはゝゝ知ゝて
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

堂
光
堂
光
全
堂
光
堂

秘ゝゝ常の住まゝゝゝんをいゝゝせん
淀の小ゝゝそゝゝゝゝゝ住保姫
ゝゝ的ゝゝ浴みゝゝゝゝゝ地蔵堂
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

光
堂
堂
堂
光
堂
光
堂

[illegible] 敬山
[illegible] 玉只
[illegible] 熊耳
[illegible] 敬之
[illegible] 蘇岱
[illegible] 哂我

[illegible] 雄磊
[illegible] 茶歌
[illegible] 柳江
[illegible] 玉光
[illegible] 窓房
[illegible] 對山
[illegible] 一蕙
[illegible] 桂九

[illegible]の花を中にして月船
[illegible]雪をあらはすあそこの外 周る
平[illegible]やてるとゆてひと雄人 [illegible]
[illegible]やるのは壺ある[illegible]表 青篠
青篠[illegible]
[illegible]直[illegible]
[illegible]五年
なく[illegible]意播
[illegible]の雄張[illegible]て夜[illegible] 雄令

大空地れ[illegible]杜宇 魏道
[illegible]の[illegible]を揮の[illegible] 寓水
世[illegible]の[illegible]吟て[illegible] 塊[illegible]
[illegible]かんの鳥 雪九
雪[illegible]の[illegible]の[illegible]峰
[illegible]呂老
[illegible]国 [illegible]
[illegible]竹の庭 千鶴

般若寺居

市中にてきこえし俳のかんこを聞 芝汀

朝もやにみ吉野の男恵を加ん 五清

紀の川の長き融の書あるこころを 奥居

行く水の鶏の海に人のあるを教る 牧士

帷子のつゝ空に知るべきの所 無城

言ふまでも秋そうや秋の八月 元雪

不拾の入日にてう伊賀の山 省吾

芭蕉翁の書ふ頃よりれ杜宇百年

山ずとかゝるまでに時鳥一つく

ゝ

ゝ蕉翁と拾てれる桜の木 壺伯

枇杷の花さくや時雨の内 何丸

ちゝ蕉翁の書る深く木 蕉翁

雪月や とひこ所の紅葉

五ゝ月や 松蕉翁の墨人 如儀

孤ゝ月ゝ ゝ年ゝ翁ゝ 年九

[illegible]ように咲くなり　斎院
[illegible]世の伴りとたのみ上　夏松
[illegible]山中なる杜鵑　基俊
[illegible]なりし　賀茂の波　賀茂
[illegible]のくく　陸奥　慈厚
[illegible]年五節　五節
[illegible]出す一さわき　千崖
[illegible]人

[illegible]佛も[illegible]れた　概所
[illegible]　橘の[illegible]　路宅
[illegible]　延史
[illegible]曲宴を[illegible]　篤老
[illegible]ゆくを[illegible]
[illegible]　一張
[illegible]人[illegible]　古人
[illegible]　丹后

駿のくにの山ゝ松をとて留魂録　敬斎
ゝをとゝをとゝたてくる事ゝの元　百堂
紙留なる出ゝもちの酒を強ゝて　未木
たゝゆゝたれるあるこゝのゝの　斎
ゝてたゝゆゝの用ゝも屋の内　堂
明ゝゝゝ月のあゝゝ笑　木

ゝるひ事なるゝも秋乃月ゝゝ
年ゝのれてゝるる酒のゝ仏　堂
酒壺をゝ家のつゝまんゝの梁　木
雑乃ゝのゝ死ゝきゝ日羽立日　斎
見ゝゝゝ城の稲ゝ米つゝ　堂
四郎ゝ彩くゝたゝる高ゝ　木
すゝゝゝ的ゝ第ゝ屋　斎
ゝゆゝ家屋ゝゝのゝ　堂

吉左衛門同道ニ
あるいは
競馬
むこ
弱
鹿屋
あるいは
場
本
廟
全
廟
本
廟
本
廟
全
本
廟
全
本
廟
全
本

何藩ヶ浦仮ちて居ん　蘭
みやまの乃ふ屋を見て詠て　登
故もなき旅業のさくらの種　本
見れそ　市毛　市毛
種蒔て春を待つ乃　本
防風　鶏　あ春ふ小　成盛　筆

さくらの
岩伏倉俊仏蒔て花見　晩望
松を踏春を如や高倉山　百里
頭巾乃ふ国仏何ふ　、
大喰居士恵見氏の墳墓を
訪る人仏物ても　、

[illegible]

八十首[illegible]

[illegible]

[illegible]

萬代の
よきゝ[illegible]
ゝゝらゝ長日持の敷の行冥加
神宮寺　千子呂

清きや鐘楼ゝ　蕪村
春山ゝ　得ゝ　かねの聲
美葉ゝ　ゝゝ花の　ゝ　儿董
やゝ　ゝ　ゝ　

文音

野ハ刈ル野ヘ入る時ハ田ヘ年
雁ヲ見る畠ヘ打る石宝寺草坡
三日月の沖ヘ出る雷ヲ武賀
ものうち鈴もたと言や春の雨寺境
うゝ坊ハ日ハ花ハ風ハ花草呂吉融
なつかしる橋の夕べ花三夜祖

端雄子

色紙
短冊
御集冊摺物彫刻所
京師高倉通四條下ル町
菊屋平兵衛